

## 全国植樹祭第4回福島県準備委員会 議事概要

### 1 日 時

平成26年11月28日（金） 10:00～11:30

### 2 場 所

福島テルサ3階「あぶくま」

### 3 内 容

#### 議題1 副委員長の指名について

浅和委員の退任に伴い、後任の副委員長には、畠委員長が福島県森林・林業・緑化協会の齋藤卓夫委員を指名し、各委員に承認された。

#### 議題2 第69回全国植樹祭基本構想（案）について

各委員の意見を踏まえ、第5回で事務局案を提示する。

#### 議題3 サテライト会場等の選定方針（案）について

事務局案のとおり、選定方針が承認され、第5回にサテライト会場（場所）、PR会場（市町村）、関連事業の想定エリア（方部）の事務局案を示した上で、選定を行うことが承認された。

#### 議題4 その他

### 4 質疑等

#### 議題2 第69回全国植樹祭基本構想（案）について

##### ○ 委員

第1に、P4の開催理念の第3段落目の表現を、まずは放射線量の低下、海岸防災林の復旧、安全・安心に結びつく森林を確実に整備していくとともに、最終的に震災前までの親しみやすい森林環境を取り戻す必要があるとした方が、この理念にはふさわしいのではないかと。

第2に、協賛等で手伝いたいと考えているが、予算措置関係があるため、事業計画策定の段階で資料を配付してもらいたい。

##### ● 事務局

1点目に関しては、指摘を受けたように、文章が流れるよう再度事務局で検討したい。

2点目に関しては、できるだけ早く方針を示したい。

##### ○ 委員

第1章福島県での開催状況の節か、P5の植樹祭開催の意義の部分で、福島県開催1回目の総括を挙げ、その間に起きた震災について記載した上で2回目の開催へのストーリーを展開していた方が良いのではないかと。

##### ● 事務局

了解。事務局で検討したい。

##### ○ 委員

昭和45年の植樹祭ではお手植え・お手播きは別の場所で行っている。式典行事と植樹行事は同じ会場で行うと決めているのか。

##### ● 事務局

前回、前々回の準備委員会で、式典会場ではお手植え・お手播き両方行うと示している。近年分けて行う例もあるが、運営の仕方や、全国植樹祭全体の一体感について考慮に入れ、式典会場にてお手植え・お手播きを行うとした。

##### ○ 委員

P4の開催理念について、県民が一丸となって取り組むために、今後基本計画を策定していく中で県民を巻き込んでいく考えがあるか確認したい。

##### ● 事務局

具体的に基本計画に盛り込もうと考えている。本県は広いので各地で全国植樹祭を盛り上げていくために、地方での植樹など取り組む。植樹祭は森林林業関係部局のみならず、農業関係、商工関係といっしょになってイベントに取り組んでいく。基本計画以降連携部局と一体となり取り組めるものを具体化していく。

##### ○ 委員

森林林業の関係者にとどまらず、この機会に県民の皆さんに森林・林業の大切さを開催まで徹底的に認識していただき、平成30年がその結果だといえるような取組が必要であると考えている。また、2020年の東京オリンピックに向けた前哨として、福島県が世界に発信できる機会にすべきだ。サテライト会場は県民を巻き込むような取組になるのかもしれない。

##### ● 事務局

開催後も豊かな森林を次世代に継承していくことを踏まえて取り組んでいくことを考えている。オリンピック等も控えているので森林の大切さを伝えるのはもちろんだが、復興のシンボルとなるような取組についても検討していきたい。

##### ○ 委員

サテライト会場について、式典の様子を、県内各地で大型スクリーンにて放映するなど、県民に参加してしていただくことが大切だ。

● 事務局

サテライト会場、PR会場について、多くの方に参加してもらいつつ、一体感・まとまりの得られることに配慮してサテライト会場、PR会場等選定していきたいと考えている。また、県民の方々に取組を理解してもらうために、植樹祭当日だけではなく、植樹祭に向けての記念行事、関連行事等行っていきたいと考えている。

○ 委員

県内外の方に広く情報を発信していくために、P7式典演出のプロローグで、福島県としてのメッセージを参加者へ伝えていくことが重要だ。

● 事務局

御意見を踏まえた計画としたい。

○ 委員

基本構想を通して、豊かな森林資源の利活用の先進性をPRしていければと感じた。建築資源だけでなく新たなバイオマスエネルギーとしてモデル事業の目出しができないか。

質問でP7、P8に関して、式典に植樹行事が含まれるのか。第4章には別に植樹行事とあるのでその関連性を教えて欲しい。

● 事務局

木材の利活用について、会場の整備においては県産材を使用する。また、木質バイオマスエネルギー、CLTなどの新しい取組や、復興住宅に県産材を使用しており、本県の新しい取組について今後基本計画に盛り込んでいければと考えている。

2点目の式典と植樹の関係は、通常式典の中で両陛下の植樹は実施される。植樹は行事のメインであるため、特出しして記載している。

○ 委員

海岸防災林が目立っているが、97万haの福島県全体の森林の再生が重要だと思うので、基本計画の中ではその点を踏まえて欲しい。

● 事務局

海岸防災林だけの植樹祭とは考えておらず、97万haの県全体の森林の再生があり、海岸防災林の復旧もあると思っている。意見を踏まえ取り組んでいきたい。

議題3 サテライト会場等の選定方針（案）について

○ 委員

P2のサテライト会場の植栽面積はどれくらいか。

P3のPR会場に道の駅はどうか。

P4の関連事業のアクセス時間はどれくらいを想定しているか。

● 事務局

植栽面積は広葉樹なら約1ha。

道の駅は想定しなかった。県内外の人が降り立つ駅などをイメージしていた。

アクセス時間は90分以内。

○ 委員

P2のサテライト会場の趣旨には、今まで避難をされていて林業ができなかった人が活動を再開できるようになったなどの記載があってもいいのではないか。

サテライト会場の選定にあっては、3つの条件にさえ合えばいいのかについて確認したい。

● 事務局

全国植樹祭のメインは式典であり、植樹を一番必要としているのは海岸防災林であるが、式典会場から遠い方にも参加してもらったり、大型スクリーンで共有しながら取り組みたいと考えている。

サテライト会場の趣旨は、多くの方が植樹活動に参加できるよう設けるものである。

議題4 その他

○ 委員

高齢者はアクセスが良いことが大切で、会場へのシャトルバス運行は是非お願いしたい。

サテライト会場、PR会場については、公共交通機関を降りた場所が良い。

● 事務局

御意見を参考にしたい。

○ 委員

関連事業には、緑の少年団の活動を是非入れて欲しい。

● 事務局

震災以降活動が低迷している団体もあり、緑の少年団は全国植樹祭において、式典で両陛下の介添えをするなど重要なため、これを契機に活動を活性化できるよう緑の少年団の育成に努めたい。

以上により閉会。

(以上)